

1. 計画の概要

- 策定目的：市内の公共交通の基本施策を示し、鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシー・AIデマンド交通などの交通体系全体と連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す。また、自転車等の交通安全を推進し、市内の交通利便性を向上させることを目的とする。
- 計画期間：令和 6 (2024)～ 9 (2027)年度 （4 年間）
- 計画区域：三鷹市全域

2. 地域交通の課題

公共交通

課題① 利便性の高い交通ネットワーク

- 交通事業者の深刻な運転手等の不足や生活様式の変化による利用者減少等の社会動向を踏まえた交通ネットワークの構築
- コミュニティバスのルート再編による地域公共交通の運行改善
- AIデマンド交通による持続的な地域内交通の運行
- 新技術を活用した公共交通の利便性向上

課題② まちづくりと連携した交通環境整備

- 交通モード間をシームレスに繋ぐ乗継環境や案内等の整備
- まちづくり拠点（三鷹駅周辺、国立天文台など）と連動した交通拠点整備

課題③ 多様化する交通ニーズへの対応

- 地域と事業者が一体となった交通環境改善への取り組み
- 民間事業と公共事業の棲み分け
- 環境や福祉など他分野との連携強化

交通安全

課題④ 市民のニーズに対応した自転車利用環境

- 新しい生活様式による市民ニーズや環境・健康意識の変化による自転車需要の増加
- 自転車関与事故割合の高止まり
- 三鷹駅前周辺をはじめとした市内の駐輪場需要の変化や違法駐輪対策
- 自転車利用者の安全意識や運転マナー向上

3. 基本方針

- 基本理念「いきいきとしたまちをつくる 持続可能で安全・快適な交福ネットワークの構築」
～交通福祉の環境づくりを目指して～

最終アウトカム

健康寿命の延伸
□コモ・フレイル予防
医療費負担額の低減

生活の質の向上
移動の自由・選択肢
社会参加

地域・経済の活性化
地域コミュニティ
商業循環システム

安全・安心な交通環境
交通事故減
自転車利便性

4. 地域交通の目標

目標① 子どもから高齢者、障がい者など誰もが快適に移動できる公共交通

- 交通不便地域の解消を図り、日常的な地域の移動手段の確保
- 安全、安心に地域や住居エリアをつなぐ交通ネットワークの構築
- 移動ニーズに対応した誰もが利用できる公共交通の確保

KPI：地域公共交通の利用者数 など

目標② 環境にやさしく、にぎわいと活力のあるまちをつくる公共交通

- まちづくり拠点整備と連動した面的な交通ネットワークの構築
- 医療、商業等の都市機能と住居エリアの接続に必要な乗継拠点の整備
- 環境にやさしい新たな交通システムの導入

KPI：サイクル&バスライドの利用者数 など

目標③ パートナースhipで地域と共に育てる持続可能な公共交通

- 基幹交通・地域間交通・地域内交通の役割分担
- 地域特性を考慮した地域内交通の最適化
- 地域と連携した継続的な運行見直し

KPI：地域内交通運営会議等地域との連携回数 など

目標④ 安全で利便性の高い、まちづくりと連携した自転車交通

- 安全性の高い自転車走行ネットワークの構築
- まちづくりと連携した駐輪環境の適正化
- 違法駐輪・放置自転車対策や駐輪場案内の充実
- 自転車利用の安全意識の啓発
- 地域や企業と連携した自転車の安全利用の促進

KPI：自転車事故件数 など

5. 施策・事業

施策① 地域公共交通の利便性向上

- 交通不便地域におけるAIデマンド交通の推進
- コミュニティバスの再編
- 新技術を活用した公共交通の研究
- オープンデータ化による交通サービス同士の連携強化

施策② 交通事業者との共創

- 民間交通と地域公共交通の連携
- 交通事業者との連携強化

施策③ 交通ネットワークの構築に向けた環境の整備

- まちづくり拠点における乗継環境の整備
- 乗り継ぎ制度の整備（ICカード等の活用）
- サイクル&バスライドの推進
- 三鷹駅前の交通改善対策

施策④ 他分野との連携強化

- 地域内交通運営会議の開催
- 福祉分野との連携
- 市内事業者との連携
- 「みたか地域ポイント」との連携

施策⑤ 自転車走行空間ネットワークの整備

- 道路状況に応じた自転車走行空間の拡充

施策⑥ 駐輪場の利便性向上

- 自転車需要に応じた駐輪台数確保・運営適正化
- 違法駐輪・放置自転車の指導や取り締まり

施策⑦ 安全やマナーに関する情報発信・教育

- 安全利用・マナーアップに向けた、交通安全対策地区委員会、警察、地域との連携
- 自転車安全講習会の開催

施策⑧ 民間との連携強化

- シェアサイクル、サイクル&バスライドの推進